

平成 25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2013年4月～2014年3月

1. 学校概要

学校名 晃華学園中学高等学校 _____
種別 中学校・高等学校
住所 〒182-8550
東京都調布市佐須町5-28-1 _____
E-mail : koka2-h@kokagakuen.ac.jp _____
Website : http://www.kokagakuen.ac.jp _____
児童生徒数：女子 _____ 895 名 合計 _____ 895 名
生徒の年齢 _____ 12 歳 ~ _____ 18 歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 生物多様性
- エネルギー
- 伝統文化

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について

・地球規模の問題に対する国連システムの理解

中学1年でユニセフ出前講座を実施した。DVD視聴、水瓶や蚊帳の体験、講師の講話などであった。本校が注目している世界の現状について、導入的な役割を果たす講座であった。

中学3年では、難民問題に詳しいカトリックの神父の講話（11月）を行った。この講話でUNHCRの役割などについて学んだ。

ユニセフ・UNHCRでは募金活動も行った。

来年度はユニクロのCSRプログラムで、UNHCRを通じた服のリサイクルに参加希望しており、いっそうのUNHCR理解を期待する。

WFPのエッセイコンテストに作品を応募し、1名が受賞した（佳作）。

・国際理解

高校2年にJICA出前講座を予定していたが、2月の大雪のため休校となり、実施できなかった。当該学年は新年度に実施予定である。

・世界遺産

中学2年で奈良・京都学習旅行（3月）を、高校2年で長崎・沖縄修学旅行（12月）を実施した。奈良では東大寺や法隆寺、京都では多くの寺院、沖縄では首里城などの世界遺産に触れることができた。事前学習において、もっと世界遺産的な視点を導入することが課題である。

・平和・人権

中学2年でNPOホロコースト教育資料センターの「ハンナのかばん」講演を実施した（1月）。この学年では「アンネの日記」を課題図書としており、ホロコーストに対する理解がますます深まった。今年は「アンネの日記」破損事件をふくめて、排他的な思想の広まりが感じられた。本講演の意義を痛感した。

・環境

中学1年が、調布市「緑と公園課」のホタル園からゲンジボタルの幼虫を約100匹あずかり、飼育した（10月～1月）。ESDアシストプロジェクトによる助成金で装置を完備でき、ほとんどの個体が無事に成長したため、学校でも飼育可能であることがわかった。将来的には近隣の学校にも同プログラムを紹介し、ホタルの飼育を広め、自生にまでつなげたい。

中学3年がエコプロダクツに出かけ（12月）、企業のCSRを体験した。よく知っている有名な企業による様々な取り組みは良い刺激となった。

・生物多様性

中学1年が植物多様性センター（神代植物公園となり）を訪問（5月）し、園内での観察とレクチャーを受けた。絶滅危惧種の数に驚きの声上がり、多様性の重要性を学んだ。

・エネルギー

高校3年「放射線研究」の有志が「サイエンスキャッスル」ポスター発表に参加し、ICU賞を受賞した（12月）。

・伝統文化

中学3年生で能楽ワークショップを行った（2月）。宝生流の能楽師をはじめ、囃子方等が来校し、仕舞、楽器演奏などの体験の後、実演の鑑賞となった。日頃はなかなか触れることのない伝統文化を体験する貴重なプログラムとなった。

（2）活動時間について（下記から選択して下さい。）

通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）